



学校だより

令和2年12月1日
12月号
調布市立第一小学校
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho/>

TEL042(481)7636

120周年作品展を終えて

学芸行事委員長 遠田 知美

11月16日から2週間にわたって行われた「120周年作品展」では、平日にもかかわらず、多くの保護者の皆様に御観覧いただきありがとうございました。今年度の作品展は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、例年と異なった展示方法で開催いたしました。展示会場を学校全体とし、校舎内だけでなく、フェンスなどにも飾り付け、一小の子供たちの豊かな発想や創造力を、一人一人の個性あふれる作品を通してお伝えすることができたのではないかと思います。

今回のテーマは『つくってウキウキ 感じてワクワク 120周年作品展』でした。新型コロナウイルスによる休校で、製作期間が6月からと例年より短かったのですが、取り組み始めると子供たちは表現することを楽しみ、自分の思いを存分に発揮しようと目を輝かせて製作していました。また、「120歳をお祝いして学校を飾ろう。」というねらいで、全校共同製作『マイフラッグ』にも取り組みました。全校児童が「わたし」を題材にして、名前をレタリングしたり、将来の夢を絵に表したりして旗を作りました。校庭と正門前にはためくフラッグは、子供たちの未来を応援してくれているかのようでした。学年においても、2年生の「バースデーケーキ」や3年生の「いろどりロード」、5年生の「お祝い旗」も120周年にちなんだ作品になっていました。6年生の共同製作「彩りのかべ」は、卒業制作も兼ね、プールの壁に「一小の四季」を描きました。家庭科では、日常生活で役立つものを作ろうと、実際に使う場面を想像して「ランチョンマット」(5年)や「マイバック」(6年)を製作しました。

自分で作り出していく楽しさや喜びを感じ、自分や友達の良さに気付いて豊かな心を育てる・・・そのような作品展として子供たちの心に残ってくれることを願っています。



プール壁面「彩りのかべ」



いのちと心の教育月間

調布市教育委員会では、12月を調布市立小・中学校「いのちと心の教育」月間と位置付けています。第一小学校では、11月の学校公開で「生命の尊さ」を扱った道徳の授業を行いました。自他の命を大切に、一人一人の違いを認め合える豊かな心を育てていきたいと思っています。

12月の生活目標 身のまわりの整理整頓をしよう

学習用具など、自分の持ち物を整理できているでしょうか。

学習の準備を手際よくするためにも、整理整頓の習慣を育て、物をなくしたり落としたりしないで大切にする気持ちを養っていききたいと思います。